

# 第5回学園運営協議会

2024.1.18

## 学校関係者評価報告

11月に実施し、学園で分析した学校評価の成果と課題、改善方策について、学園運営協議会委員に皆さまからご意見や評価の妥当性についてのご判断をいただいた。総合評価はB。

## 評価に基づいた今後の方向性

**【教育支援部】** 学園運営計画は3年スパンで見直すというのが基本的な考え方。日の里学園も計画見直しの時期にある。学校評価の中の「チャレンジ」の家庭の評価が低い。家庭で子どもが頑張る機会を作りたい。子どもたちの地域との連携意識を高める意味で例えば児童会の中に「CS委員会」を作ってはどうか。

**【協働部】** コミセン広報誌を次年度から見直す。「未来に向けた広報」「デジタル回覧板」「サポーター制度とリンクさせた広報」を考えている。「〇つけ隊」の取組をシニアにも協力してもらおうとよい。子どももシニアもWIN-WINの関係が広がる。

**【地域貢献部】** 地域と学校の関係が深まっている。中学生はボランティアというよりスタッフ、地域課題解決者として活躍している。日の里まつりの踊りを小学生が率先してやる仕組みを考えてはどうか。

## 地域からの情報

「地域学校協働活動に関するアンケート」を今年度も実施した。「活動に参加した人」と「認識・意欲の高さ」は相関している。啓発のために来年度も継続して取り組みたい。

昨年春に実施した「桜めぐり」を、今年は時期を早め「日の里っ子、縁起豆まき」とし、日の里の3つのお寺で実施することにした。併せてお面づくりも実施する。

木村さん



中川さん